

## ○「がんに関する教育」について

## &lt;目的&gt;

現在、日本人の2人に1人が、がんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われている。がんは、日常生活と密接に関係する疾患であり、がんを予防するためには、生活習慣を形づくる時の教育が大変に重要である、このことから、ある程度の理解力が備わり、また喫煙習慣や生活リズムの変化をきたしやすい中高生を対象とし、がんの理解と予防に関する知識を深めていくことを目的として、がんに関する教育を推進していく。

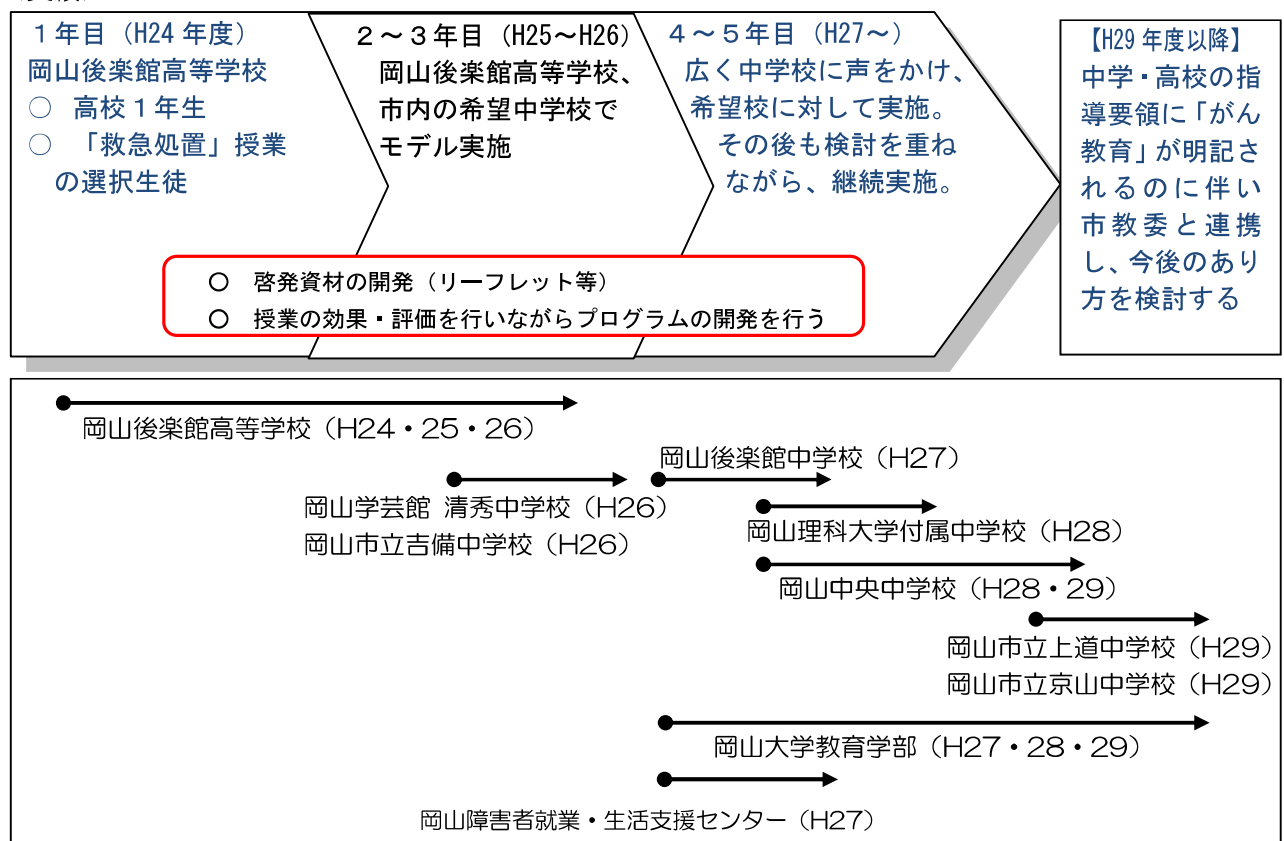
## &lt;ねらい&gt;

健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つように教育する。

## &lt;方法&gt;

- 1 モデル校・実施希望校におけるがん教育の実施（H24 年度～）
- 2 教育啓発資材の開発 ⇒ リーフレットの作成・使用（平成 26 年 3 月末初版発行）
  - ・中学生や高校生にもわかり易い啓発資材を作成し、効果的ながんに関する教育を行う。

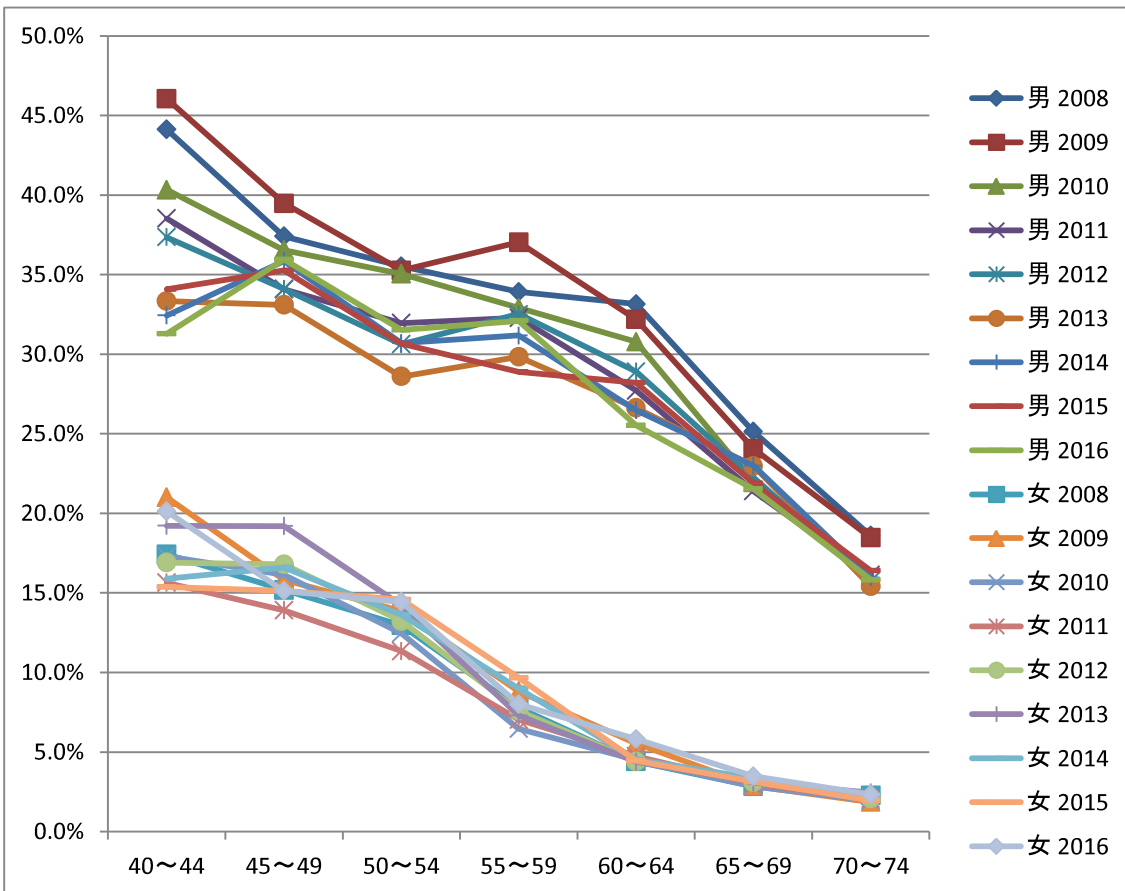
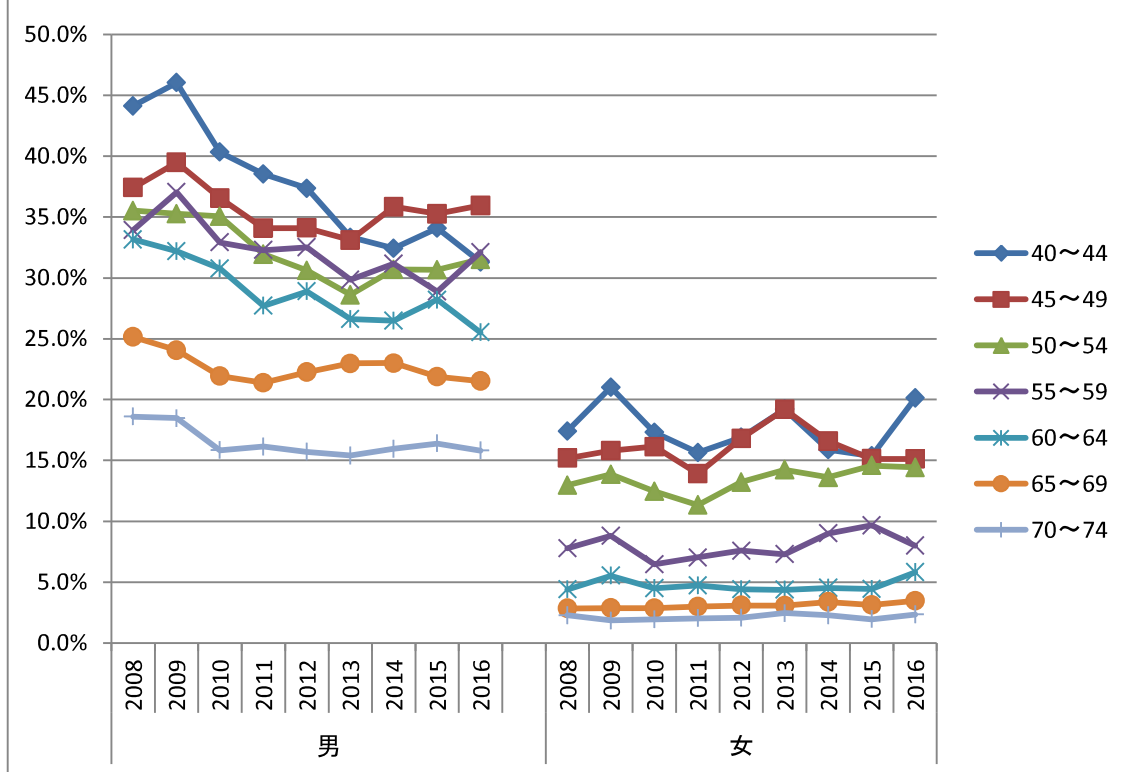
## &lt;実績&gt;



## 3 授業内容

- 講師による講話：医師、保健師、栄養士等、がん患者、MSW等
- リーフレット：『知って欲しい「がん」のこと』…平成 30 年 3 月改定（作成中）
- 授業時間：50分内容（講話中心）と100分内容（グループワーク実施）の2通りのプログラム

## 国保特定健診受診者 喫煙者割合



食品衛生指導員スキルアップ研修会及び食品衛生指導員全体会議 提供資料＜抜粋＞

実施日時：平成 30 年 1 月 23 日（火）13:30～

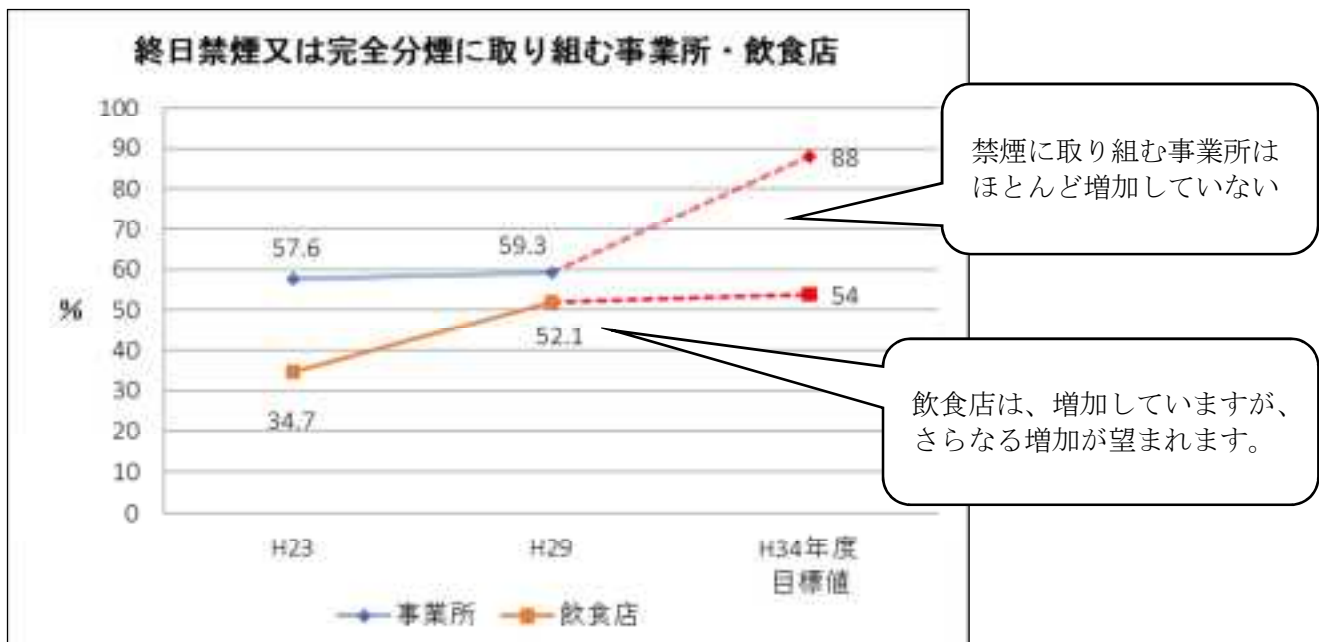
会場：岡山ふれあいセンター

1 岡山市の動向

- ・ 大森雅夫市長が9月の定例会議で「法の成立を待つまでもなく、市役所の関係庁舎の喫煙室を廃止する方向で、今後早速調整を進めたい」と答弁
- ・ 平成 29 年 11 月 1 日から岡山市役所本庁舎が建物内を全面禁煙に
- ・ 平成 30 年 1 月から、議会棟も建物内を全面禁煙

2 岡山市の飲食店の取組について

○禁煙・完全分煙に取り組む飲食店は増加しています



平成 23 年度 健康市民おかやま21最終評価アンケート

平成 29 年度 健康市民おかやま21（第 2 次）中間評価アンケート

○「終日禁煙」の飲食店の割合が増加しています

「禁煙席に煙が流れ出る分煙席の設置」、「何も取り組んでいない」飲食店の割合は減少しています



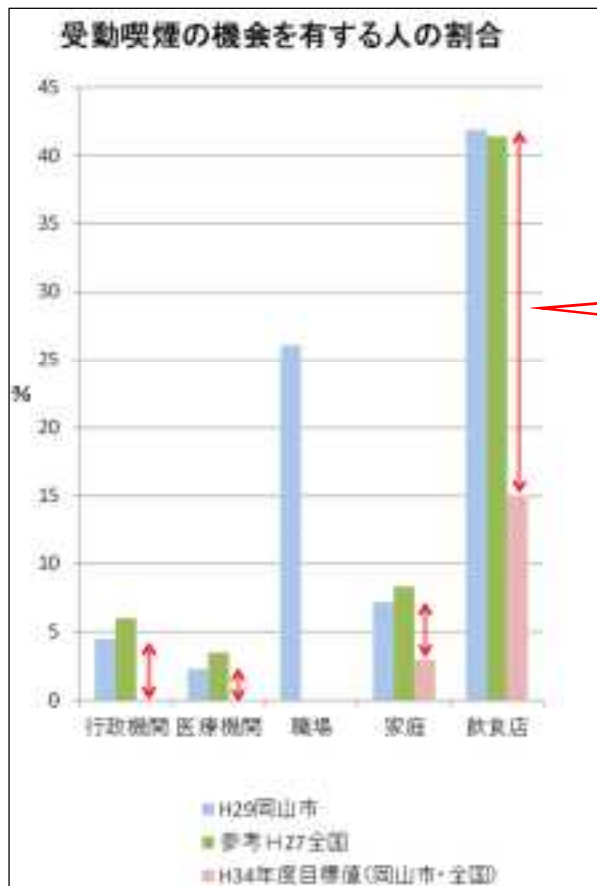
平成 19 年度 健康市民おかやま21中間評価アンケート

平成 23 年度 健康市民おかやま21最終評価アンケート

平成 29 年度 健康市民おかやま21(第2次)中間評価アンケート

### 3 岡山市民の受動喫煙の状況について

○受動喫煙の機会、飲食店が最も多く、次いで職場となっています

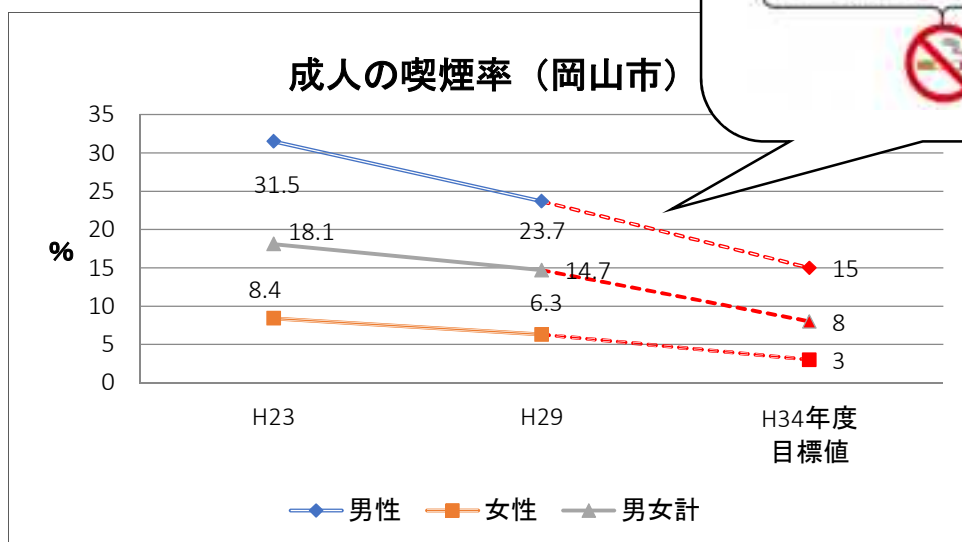


岡山市では  
この割合の差が小さくなる  
ことを目指しています

平成 29 年度 健康市民おかやま21(第2次)中間評価アンケート

#### 4 岡山市民の喫煙の状況について

○喫煙する岡山市民は減少しています

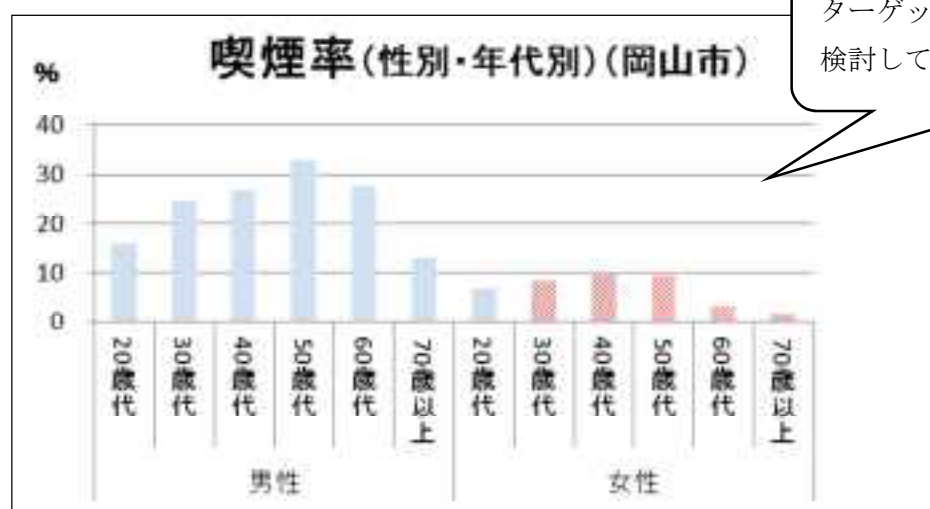


20 歳以上の市民のうち、  
6 人／7 人中が喫煙しません



平成 23 年度 健康市民おかやま21最終評価アンケート  
平成 29 年度 健康市民おかやま21(第 2 次)中間評価アンケート

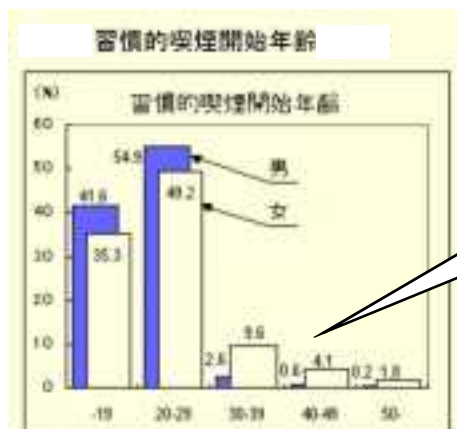
#### ○性別・年齢別にみると喫煙率に違いがあります



ターゲットとするお客様について  
検討してみませんか？

平成 29 年度 健康市民おかやま21(第 2 次)中間評価アンケート

#### ○30 歳代以後に喫煙を開始する人は少数派です



喫煙するお客様は、次第に少数になることが予想されます

平成 10 年度 喫煙と健康問題に関する実態調査 厚生労働省